

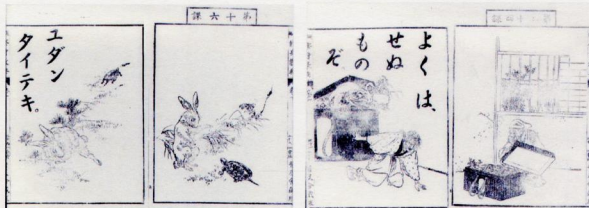
# 明治時代の教科書

IV-3

学校制度が始まって、教科書の種類はあまりなく、欧米のものを訳したものも使っていました。また、決まった教科書もなく、学校ごとに教科書を採用していました。保護者はお金を出して新しい教科書を買ったり、近くの卒業生から安くゆづってもらったりしていました。

明治の後半には国で定められた教科書を使うようになりましたが、本は有料でした。また、教科書がひんぱんに変えられたため、兄弟のものが使えず負担は大変で、教科書が買えない人も大勢いました。

IV-3



IV-3-1

IV-3-1

『修身教典』 明治33年 普及社

絵を中心に、『ウサギと亀』『したきりすずめ』など親しみやすい昔話を入れ、心を育てようとした教科書です。

IV-3-1